# 法政大学経済学部 同窓会報

**第83号** 2021年（令和3年）9月1日
法政大学経済学部同窓会（略称 法政経友会）

発行人：村田紀敏（同窓会会長）／編集人：執行部編集委員会
〒194-0298　東京都町田市相原町4342 法政大学経済学部研究棟4階420号室
電話・FAX 042-783-2550　http://www.hoseikeiyukai.jp/
郵便振替口座001706−602070　三菱UFJ銀行橋本支店普通口座0166670

本会は、会員相互の親睦をはかり、経済学部および母校の発展ならびに社会・文教の進歩に寄与することを目的とする。（同窓会会則第３条）


## 2021年度定期幹事総会 出席者を絞って開催される

２０２１年度定期幹事総会が、２０２１年６月５日土曜日に、四ツ谷駅前の主婦会館プラザエフにおいて開催されました。

昨年度の総会は、コロナ対策のために書面開催でしたが、連続の書面開催を避けつつコロナ禍であることも配慮し、人数を絞っての開催となりました。出席者は、常任幹事18名、顧問１名、事務局員２名の合計21名で、広い会場にロの字型に机を並べ、出席者間の距離を広く取ったうえで議論がなされました。

広い間隔を取り着席して行われた定期幹事総会

第１号議案は２０２０年度事業報告、決算承認に関するものです。

最初に、基本活動方針に基づく活動については、人が集まる会議やイベントは全く開催できない状況でありながら、事務局を中心にメールや郵送による意見交換で、可能な限りの継続性を保持した活動を実施したことが、報告されました。

### ①ＩＣＴによる諸行事等への対応

総会、合同幹事会は書面により開催したほか、経済学部創設１００周年記念行事及び同窓会報等の課題についても、メールや電話の活用で達成することができました。また、役割分担については、広く常任幹事に呼びかけて協力を仰ぐ、横断的な方法をとるよう心掛けました。さらに、若手数人の間で、ＩＣＴ（情報通信技術）を活用してのリモートミーティングなども試みました。

### ②同窓会報の刷新

実務及びコスト面の双方から検討を行い、会報の刷新とともに発行コストの大幅削減を図りました。

2面へ

## 来年の経済学部同窓会 創設30周年に向けて

### ～記念事業へのご提案とご寄付をお願いいたします～

２０２２年は、１９９２年に経済学部同窓会が創設されて30年の節目を迎えます。

２０２２年には、新型コロナの影響も低下していくことが予想されますが、記念行事等については、プロジェクトチームを立ち上げるなど、何らか実行部隊を編成のうえ、検討を行い実施につなげていこうと考えています。

現在のところ、同窓会創立30周年記念行事を兼ねた、オレンジの集いまたは２０２２年忘年パーティーや、同窓会員、現役経済学部生を対象とした、読書感想文コンテストなどの案が出されていますが、皆様からの積極的なご意見を募り、詰めていきたいと思いますので、事務局までお寄せください。

また、30周年記念事業への寄付も同時に募ります。こちらへのご協力も、よろしくお願いいたします。

### ③100周年記念行事の実施

リモート実施でのリレー講義に、村田会長、潮崎副会長、花澤幹事長及び髙森事務局長が講師として参加しました。記念プレゼンテーション大会には村田会長、花澤幹事長、嶋組織部会長及び前原常任幹事が審査員となり、入賞チームに計30万円の賞金を授与しました。また、会場で上映された『100周年記念ビデオ』にて、村田会長がメッセージを送りました。『経済学部創設100周年記念誌』を発行し、同窓会会員はもとより教授等大学関係者、ゼミナール生、当年度卒業生、新入生等幅広い層に郵送・配布しました。

### ④QRコード・メルマガによる若手卒業生、現役学生への働きかけ

QRコードを利用したメルマガを毎月2回のペースで配信を行い、当年度の卒業生、新入生にメルマガ登録のチラシを配布しました。

### ⑤コストの削減

当年度は同窓会活動が制約を受けたことから印刷費が大幅に縮小したほか、会報新年号の発行費用がほぼ半減したことにより、5年ぶりに収支が黒字になりました。

2番目に専門部会による経常的な活動についてですが、人が集まる行事についてはすべて中止せざるを得ませんでしたが、ICTを利用した活動に関しては、内容の充実を図りつつ実施されました。

3番目の合同幹事会については、すべて書面により開催されたとの報告がありました。

決算については3面参照。

◇　◇　◇　◇

第2号議案は2021年度活動方針・事業計画、予算案承認に関するものです。

最初に2021年度活動方針・事業計画が提示されました。

### ①基本活動方針

2021年度については、コロナ禍が収まる事を期待しながらの活動となります。コロナ禍を機会に組織の運営を抜本的に見直すことを基本活動方針とし、対面方式の会議などを見直し、ICT（情報通信技術）を利用した方法を、可能な限り取り入れていきたいと思います。これにより、若手や地方在住者の会議参加も、考えてみたいと思います。具体的方針は次のとおりです。

議事終了後、昼食を取りながら意見交換が行われた

#### (1)ICTを活用した諸行事、イベント等への対応

対面での活動は残しながら、ICTを活用したイベントに取り組んでいきたいと思います。

#### (2)次世代に繋げる人材の確保

女性部会はICTを取り入れた活動を模索して軌道に乗せ、コロナ禍の収束を見込んだ対面での活動も企画します。ICT活用による意見交換の仕組みの構築などで、次世代の人材確保の努力を継続します。

#### (3)同窓会報への対応

新年号から、新たな発行スタイルに変更しましたが、今後も改善していきます。なお、会員の親睦推進という目的に鑑み、政治色や宗教色の濃いもの、特定の思想信条の主張等は不掲載とさせていただきますので、ご理解をお願いします。

#### (4)QRコード・メルマガによる若手卒業生、現役学生への働きかけ

引続きQRコードの登録を呼びかけ、母集団の拡大を図ります。

#### (5)学生・若手会員をターゲットとしたSNS等による情報交換

デジタルへの段階的移行を含め、未来像に関する研究を継続します。

#### (6)経済学部同窓会創設30周年記念への対応

1面下段をご覧ください。

### ②経常的な活動の実施

新型コロナの影響による自粛要請等の推移を見据えつつ、次の経常的な活動の実施を計画します。

経済学部オレンジの集い・森嘉兵衛賞授与式△忘年パーティー△教授会との共催による卒業祝賀会△同窓会報の発行、ホームページ・QRコードの運営△エンジョイ経友会活動、希望者を募っての旅行△ディベート大会、プレゼンテーション大会、インターンシップ等への支援・協力△教授会執行部との懇談会△校友会・他学部同窓会との連携

予算については3面参照。

主な内容は以上となり、予定されていた議題、報告事項についてはすべて可決・了承されました。

その後、第29回森嘉兵衛賞の報告がされた後で、お弁当を食べながらの意見交換が行われ、校友会との関係の件、平和祈念碑の継承に関する件などが話題に挙がりました。なお、今回はパーティーなどはなく、以上での散会となりました。

# 定期幹事総会で20年度決算・21年度予算を承認
# 経費節減効果が収入減を補い5年ぶりの黒字収支に

6月5日に開催された定期総会で、20年度決算と21年度予算が承認されました。

20年度決算の概要としては、収入減となったものの、コロナの影響などで会議等の活動がへったことなどもあり、5年ぶりの黒字決算となりました。

21年度予算の概要としては、収入減を見込んで緊縮予算を組まざるを得ず、支出は一層の削減を図ることとしました。詳しくは以下をお読みください。

## 2020年度決算及び2021年度予算

（単位千円）

| 〈収　入〉 | 20年度予算 | 20年度決算 | 差異 | 21年度予算 |
|---|---|---|---|---|
| 年会費収入 | 2,149 | 2,004 | △ 145 | 1,974 |
| 終身会費収入 | 375 | 465 | 90 | 430 |
| 寄付金収入（一般活動支援） | 250 | 202 | △ 48 | 200 |
| 広告収入 | 1,350 | 1,120 | △ 230 | 1,000 |
| HP バナー広告収入 | 120 | 120 | 0 | 120 |
| 校友会費納入還付金 | 14 | 14 | 0 | 14 |
| 校友会活動補助金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 雑収入 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 収　入　計 | 4,258 | 3,926 | △ 332 | 3,738 |
| 人件費 | 1,500 | 1,473 | △ 27 | 1,420 |
| 事務用消耗品費 | 60 | 28 | △ 32 | 60 |
| 事務用備品費 | 30 | 49 | 19 | 50 |
| 事務用印刷費 | 300 | 102 | △ 198 | 250 |
| 通信運搬費 | 200 | 204 | 4 | 200 |
| 会報発行費 | 1,450 | 1,150 | △ 300 | 850 |
| 会報発送費 | 355 | 348 | △ 7 | 340 |
| 賃借費 | 60 | 59 | △ 1 | 60 |
| 渉外費 | 120 | 130 | 10 | 120 |
| 学術奨励事業費 | 100 | 100 | 0 | 100 |
| 雑費 | 130 | 129 | △ 1 | 130 |
| 支　出　計 | 4,305 | 3,772 | △ 533 | 3,580 |
| ［前年度よりの繰越金］ | | 1,416 | | |
| 収入―支出 | | 154 | | |
| 終身会費次年度繰越金 | | 1,862 | | |
| 次年度以降会費収入等 | | 60 | | |
| ［次年度への繰越金］ | | 3,492 | | |

（100周年記念事業収支）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 収入（寄付金） | 2,734 | 支出（記念誌発行） | 1,112 |
| 収入（記念誌代） | 94 | 支出（同郵送費） | 281 |
| | | 支出（振込手数料） | 46 |
| | | 支出（学生支援金へ振替） | 1,389 |
| 合　計 | 2,828 | | 2,828 |

（学生支援積立金）

| | | （支出内訳） | |
|---|---|---|---|
| 前年度繰越金 | 1,490 | 各種大会賞金・支援金 | 335 |
| 収入（100周年記念事業＋寄付） | 1,400 | 卒業生関連 | 248 |
| 支出（内訳右欄） | 919 | メルマガ等運用費用 | 145 |
| 次年度繰越金 | 1,971 | 振込手数料 | 2 |
| | | 未払い（卒業生関係） | 189 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 平和祈念事業収支繰越金 | 153 | 25周年記念事業収支繰越金 | 268 |

## 20年度決算

収入は、主に年会費及び名刺広告収入の減少により、対予算費33万円減となりました。他方、支出はコロナの影響により会議等の活動がほとんどなかったこともあって、事務関係費が削減されたほか、会報の刷新による印刷費の大幅減が功を奏し、対予算費53万円強の減少となりました。

以上の結果、収支はプラス15万円と、5年ぶりの黒字決算となり、これにより、財務基盤の健全性を表す繰越金は、前期比41万円増の349万円となっております。

＊　＊　＊　＊

## 21年度予算

21年度予算につきましては、年会費及び名刺広告収入の減少の継続を見込んで、緊縮予算を組まざるを得ず、収入減に対応して支出についても、一層の削減を図ることとしました。

予算上は、15万円の黒字を見込みますが、今後コロナが落ち着きを見せ、同窓会活動が正常化に向かうことにより、諸経費が増加することも考えられます。会員の皆様による、会費の納入及び一般会計

4面へ

への積極的なご寄付を、切にお願いする次第です。

＊　＊　＊　＊

## 100周年記念事業学生支援金

100周年記念事業については、多くの会員の皆様から合計273万円のご寄付を頂戴しました。会員の皆様に、改めて御礼を申し上げます。

皆様から頂戴した寄付金は、記念誌発行・送付費用等に充当し、残額138万円については、全額を学生支援金勘定に移管させていただきました。

そのうえで、100周年記念学生プレゼンテーション大会賞金や、卒業生への『100周年記念誌』発送等の費用に充当させていただいております。

経済学部同窓会における学生支援金の期末残高は、197万円となっておりますが、このままであれば2～3年で枯渇する計算であり、会員の皆様におかれましては、引続き学生支援への暖かいご寄付をお願い申し上げます。

（事務局長　高森）

## 同窓会創設30周年に向けて「平和祈念碑」について考える

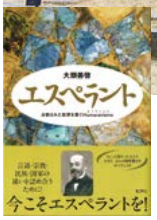
会長代行　加藤　毅

同窓会の歩みの中で特筆すべき大事業であった、「平和祈念碑」建立について、あらためて学生諸君と一緒に学び語り合う機会を、創設30年を機に、ぜひとも作りたいと考えています。

祈念碑は、第二次世界大戦末期、国策として全国の学園から大学生を戦地に送り、多くの戦死者、戦傷病者を生んだ「学徒出陣」の記憶を、当時の先輩たちが後輩たちへのメッセージとして残したものです。

残念ながら、現在の学生諸君には、祈念碑の趣旨はおろか、その存在すら薄らいでいます。30周年を契機に、祈念碑の前で「すいとん」や「お汁粉」などを共に食しながら、学徒出陣などについて語り合うことを、始めたいと願っています。

↑経済学部棟の横に建立された平和祈念碑




←大類善啓氏の近著『エスペラント分断された世界を繋ぐHomaranismo』（批評社）

平和祈念碑については、同窓会の宣伝が不十分で、建立された先輩方に申し訳なく思っていますが、この祈念碑を取り上げていただいた、会報誌があります。

戦争末期のもう一つの悲惨な国策に「満蒙開拓」があります。満蒙開拓は、多くの悲劇を生み出しましたが、中国の市井の女性が中心となり、旧満州の方正（ほうまさ）の地に、亡くなった大勢の日本人の墓碑を建てて下さいました。その事実を出発点として、満蒙開拓をはじめ戦争の悲劇を語り継ぐ、『星火方正（せいかほうまさ）』という会報誌があります。編集者は、法政大学文学部OB（そして私の高校の同窓生）である大類善啓さんです。2019年、大類さんに声をかけていただき、経済学部同窓会による平和祈念碑建立の経緯を、同誌に大きく掲載することがかないました。

大類さんたちの活動は、方正の墓碑の建立に対する感謝の表明から、墓参活動、日本人孤児を育ててくれた中国の養親方への感謝の老人ホームの建設などにも拡がっています。その根気強い活動に、私たちの平和祈念碑に関わる活動も、触発されざるを得ません。

そして大類さんは今年、『エスペラント　分断された世界を繋ぐHomaranismo』（批評社）を上梓されました。世界共通言語エスペラントの誕生（1887年）の背景から書き始め、エスペラントの理念である人類人主義の思想がどのような歴史的背景の中で生まれたか、過去の歴史の中でどのように評価され、どのような人物がその思想に基づいて活動してきたかが、豊富な資料に基づいて書かれています。本書を読むと、言語、民族、国家の違いを認めあった上で、相互理解のための国際交流の重要性を改めて感じます。

私たちも、近年大学が刊行した『学徒出陣証言集』などを学生の皆さんと一緒に学びながら、祈念碑に込められた、先輩たちの切実なメッセージを息長く伝えて行く方法を、同窓会創設30周年を機に考えたいと思います。

# 第29回森嘉兵衛賞　酒井　正　著
## 『日本のセーフティーネット格差　労働市場の変容と社会保険』について
### 森嘉兵衛賞審査委員会

本学の酒井正教授は、現代の日本が直面する社会保障について調査・研究を重ねてこられた気鋭の研究者である。

『日本のセーフティーネット格差　労働市場の変容と社会保険』は、そうしたキャリアから得られた知見を基礎に、わが国の社会保険の構造を分析し、「就業形態」を切り口として、被保険者の正規雇用者と非正規雇用者という就業格差が、社会保険の格差を生み出し、セーフティーネットの格差ともなっている実態を剔抉し、社会保険の綻びとなっていることを証明し、かつその解決の方向を解明している労作である。

しかも本書は、学術的な研究でありながら、平易な記述がなされており、学生を含め一般人にも呼び掛け、わが国の現代の社会保障について考えるべき素材を提供している優れた研究書である。

本書の構成は、以下の通りである。

序　章　日本の労働市場と社会保険制度との関係

第1章　雇用の流動化が社会保険に突き付ける課題①
―社会保険の未納問題―

第2章　雇用の流動化が社会保険に突き付ける課題②
―雇用保険の受給実態―

第3章　セーフティーネットとしての両立支援策

第4章　高齢者の就業と社会保険

第5章　社会保険料の「事業者負担」の本当のコスト

第6章　若年層のセーフティーネットを考える
―就労支援はセーフティーネットになり得るか―

第7章　政策のあり方をめぐって
―EBPMは社会保障政策にとって有効か―

終　章　セーフティーネット機能を維持するために

本書の社会的評価は、多くの大手マスコミで本書が紹介されていると同時に、権威ある三つの学術賞、第42回サントリー学芸賞、第43回労働関係図書優秀賞、第63回日経・経済図書文化賞を受賞していることで、十二分に示されている。

このたびは森嘉兵衛賞を頂き、大変光栄に存じます。

本書は新型コロナ・ウイルスが拡大する前に執筆されたものですが、本書が問題意識の起点とした「雇用保障が脆弱な者ほどセーフティーネットも脆弱である」という事実は、コロナ禍で一層露呈した気がします。現在、雇用調整助成金の特例措置は未曽有の規模で発動されており、打ち出されている諸施策には、従来の雇用保険から漏れ落ちた人びとを救済する明確な志向も見られます。それにもかかわらず、コロナによる負のショックは非正規雇用に偏在しているように思えます。今回の雇用対策の冷静な検証が必要です。また、コロナが長引くにつれ、雇用維持策から労働移動策へのシフトが主張されるようになっていますが、職業訓練等へ過度な期待をすることにも注意が必要と考えています。

この受賞を励みに、一層、研究に取り組んで行きたく存じます。

## 受賞者のことば
酒井　正 先生

## Campus Now
### 学生会の新役員が事務局に挨拶にみえました

6月29日火曜日、新しく学生会代表に就任された高橋佳子さんと板坂裕心さん、そして岡部ゼミナールゼミ長の田中七瀬さんの3名が、事務局にご挨拶にみえました。同窓会からは、同窓会の活動や学生との関わり、今後の学生との対話について説明しました。

田中ゼミ長からは、経済学部の多くのゼミナールの参加のもとに実施している、株式投資コンテストに同窓会も是非参加してほしいとの要請があり快諾。直ちに参加者を募って現在9名の常任幹事がコンテストに加わっています。

このほか、特に就職について先輩方からざっくばらんにお話を伺いたいとの要望があり、大学の授業等が正常に近づき次第、いつでも対応する旨回答しております。

同窓会としても、学生たちが自由にキャンパスを闊歩できる環境が、一刻も早く訪れることを願ってやみません。　（事務局長　髙森）

以前、岡山県倉敷市の観光の中心美観地区を歩き、町の人に「大原孫三郎さんと、ご長男の総一郎さんのお墓はどこですか?」と尋ねると、思いもよらず「法政大学の方ですか?」との問いが返ってきました。

大原美術館を創設・発展させ、美観地区にも深く関わった大原親子は、大原社会問題研究所を設立し法政大学に寄贈されたことでも知られます。「法政の関係者はよく訪れるのですか?」と聞くと「昔はたまにいらっしゃいましたね」とのこと。美観地区の北東、鶴形山にある墓所の見える場所に案内していただき、お参りさせていただきました。大原社会問題研究所の設立と法政大学への寄贈は、地元でも語り継がれる重要な業績なのだなと、改めて感じた次第です。

（広報部会長　嶋　崇）

倉敷市美観地区を象徴する大原美術館
（提供：倉敷市観光課）

## 2021年忘年パーティー開催について

1面でご報告した定期幹事総会で、本年の忘年パーティーについては万難を排して実施しようとの声が高まり、12月4日(土)開催の方向で、四ツ谷駅前の「主婦会館プラザエフ」を仮押さえしました。今後、10月に予定の代表・常任合同幹事会で改めて状況判断を行い、開催方法等について検討を行う予定です。開催方法やプログラムが決まり次第、書面又はホームページ等を通じてお知らせいたします。

今年度、学生会代表を務めさせていただくこととなりました、現代ビジネス学科3年、髙橋佳子と申します。この度は代表という大役を仰せつかりまして、嬉しく思う反面、この重責に身の引き締まる思いです。

101年目という歴史ある経済学部をより一層活気付けるため、責任を持ち、活動に一生懸命取り組んでいく所存です。学生会一同、経済学部のさらなる発展に寄与するよう努めて参りますので、何とぞよろしくお願いいたします。

原稿執筆時には3度目の緊急事態宣言が解除され、少しずつではありますが、学生に本来あるべき日常が戻りつつありました。しかし、感染状況は予断を許しません。コロナ禍において私たち大学生のキャンパスライフは一変し、多くの活動を制限されました。

年が明けての学生会最初のイベントである、学生ディベート大会の日程が、2度目の緊急事態宣言の延長と重なってしまい、開催することが叶いませんでした。学年を問わない貴重な交流の場を設けることが出来ず、大変残念な結果となってしまいました。

まずは一日も早い感染終息を願い、引き続き感染対策を行いながら気持ちを新たに切り替え、今後開催予定のイベントに向け、学生会一同全力で準備を進めたく思います。

何かと未熟でございますが、同窓会の皆様方のお力添えあっての学生会ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何とぞよろしくお願いいたします。

髙橋（たかはし）　佳子（かこ）
現代ビジネス学科3年
岡部ゼミ

# 経済学部教育・研究体制一覧

2021年7月現在の経済学部教授陣と専攻分野を紹介します。（50音順）

阿部　俊弘　教授　統計科学
飯野　厚　教授　応用言語学、英語教育学
池上　宗信　教授　開発経済学
李　址遠　専任講師　日本語教育学、言語人類学
梅津　亮子　教授　管理会計、原価計算
岡部　雅史　教授　環境科学、生物学
奥山　利幸　教授　理論経済学
小黒　一正　教授　財政学、公共経済学
小沢　和浩　教授　情報処理
ジョン・カレンガ　准教授　西洋経済史
河村　哲二　教授　アメリカ経済論、世界経済論、理論経済学
河村　真　教授　産業組織論、応用計量経済学
菊地　和也　専任講師　政治経済学、ゲーム理論、社会選択理論
岸　牧人　教授　監査論
後藤　浩子　教授　イギリス社会思想史
小林　克也　教授　地方財政論
近藤　章夫　教授　経済地理学
酒井　正　教授　労働経済学
坂本　憲昭　教授　制御理論
佐柄　信純　教授　数理経済学、函数解析学
篠原　隆介　教授　公共経済学、ミクロ経済学、ゲーム理論
芝田幸一郎　教授　ペルー考古学・人類学・ラテンアメリカ研究
マニーシュ・シャルマ　准教授　経済学、コーポレートファイナンス、日本経済
胥　鵬　教授　コーポレート・ファイナンス、ガバナンス
ロバート・シンクレア　客員教授　物理学、理論物理学、数学
進藤　理香子　教授　ヨーロッパ経済論
菅　富美枝　教授　契約法、消費者法、イギリス法、法社会学
菅　幹雄　教授　経済統計
菅原　琢磨　教授　社会政策論、医療経済学、医療関連産業の産業組織論
杉浦　未樹　教授　世界経済史
杉本　龍勇　教授　スポーツ経済学、スポーツ経営学
鈴木　豊　教授　契約理論、理論的産業組織論、企業の理論
ロバート・ストラウド　准教授　英語教育学、応用言語学
砂田　充　教授　産業組織論、企業経済学
石　頌　准教授　中国文学
ジェス・ダイヤモンド　教授　ファイナンス、マクロ経済学、労働経済学
高橋　秀朋　教授　金融、ファイナンス
竹口　圭輔　教授　財務会計
武田　浩一　教授　金融論
武智　一貴　教授　国際経済学
田中　優希　教授　財務会計
田村　晶子　教授　国際経済学、マクロ経済学、応用計量経済学
田村　理香　教授　アメリカ文学
張　欣　教授　中国文学
寺内　正典　教授　心理言語学
冨永　靖敬　准教授　国際関係論
中谷　安男　教授　応用言語学
長原　豊　教授　経済史・経済理論、社会思想
倪　彬　准教授　国際経済学、開発経済学、応用計量経済学
西澤栄一郎　教授　環境政策論
新田　誠吾　教授　19世紀末から20世紀初頭のドイツ文学
朴　倧玄　教授　地理学（都市地理学）
橋本　到　教授　フランス語、フランス文学
馬場　敏幸　教授　アジア経済、技術移転、技術経営
濱秋　純哉　准教授　公共経済学、応用計量経済学
原　伸子　教授　社会経済学、経済学史、ジェンダー経済学
平井　俊行　教授　ゲーム理論、ミクロ経済学、公共経済学
平瀬　友樹　准教授　経済理論形成史
廣川みどり　教授　社会的選択論、公共経済学
ブー・トゥン・カイ　教授　国際マクロ経済学の理論と実証
藤田　貢崇　教授　物理学
馬　欣欣　教授　中国経済論、労働経済学
古澤　直人　教授　日本中世史
牧野　文夫　教授　日本の経済発展と技術進歩
松波　淳也　教授　環境経済学、理論経済学
松野　響　准教授　比較認知科学、実験心理学
宮崎　憲治　教授　計量経済学、マクロ経済学
八木橋　毅司　教授　マクロ経済学、国際マクロ経済学、応用計量経済学
宮脇　典彦　教授　経営統計学、経営科学、データ解析
明城　聡　教授　産業組織論、応用統計学
森田　裕史　准教授　マクロ経済学、時系列分析
山﨑　達朗　教授　英語学・社会言語学
山﨑　友紀　教授　資源・環境工学、化学、理科教育
山田　快　准教授　スポーツ心理学、スポーツコーチング学
湯前　祥二　教授　ファイナンス
ジュリア・ヨング　教授　国際関係企業史
松村　隆助教　マクロ経済学、計量経済学、財政・金融政策

# 経済学部職員人事

## ■経済学部事務課

【専任職員】
《転　出》
課長　小野木　修　法政大学校友会（出向・人事部付）へ
沖田　士　大学院事務部大学院課へ
土屋　広康（資料室）　中学高等学校事務室総務担当へ
《転　入》
課長　鎌田　太郎　大学院事務部大学院課より
瀬戸　正輝（新入職員・既卒）
（以上21年6月1日付）

## ■経済学部事務課資料室担当

【嘱託職員】
市ヶ谷資料室
《退　職》
金綱　知子
（21年3月31日付）

【紹介予定派遣】
多摩資料室
《着　任》
橋本　利恵
（21年6月1日～9月30日）

市ヶ谷資料室
《着　任》
上赤坂由美
（21年4月1日～7月31日）

# 会員短信

全国の会員から事務局に寄せられたお便りを紹介します
（　）は西暦年です

## 北海道から

川南　卓也（17年卒）
岩見沢市　43歳

BSフジで月曜～金曜22時台に『クイズ！脳レベルSHOW』という番組が放送されており、欠かさず観ています。MCの岡田圭右（ますだおかだ）さんとアシスタントの川野良子アナウンサー（93年法政大学文学部卒業）が、中高年層4名のゲスト解答者の魅力を引き出しながら、脳の活性化を促す様々なクイズやゲームを行っていく楽しい番組です。番組の『50日間脳活ドリル』というムック本も販売されています。

昨年、通学課程では経友会提供によるリレー形式のオンライン講義が行われましたが、それに倣い、通信教育部のメディア授業（インターネット収録・配信）において、学部同窓会の実務家による特殊講義の開講を働きかけて欲しいと思っています。

## 岩手から

髙橋　壮司（13年卒）
宮古市　30歳

本州最東端がある街に住むようになってから二年目に突入しました。最近になって高速道路が開通し、隣接地域に出かけやすくなったとはいえ、まだまだ交通が不便な場所です。もっとも、そのことにより周辺でコロナの話を聞くことは少ないのですが、日々緊張感を持って過ごしています。一日も早く元の日常が戻ることを願ってやみません。

## 埼玉から

### 中央広場が完成

川上　良一（92年卒）
越谷市　62歳

5月28日は、今井雅之（雅風徹信居士）の七回忌でした。これを記念して東京・大阪舞台公演が予定されていたものの、緊急事態宣言下、中止になってしまいました。

昭和57年のGW、法政大学文学部英文学科に入学したばかりの今井君のもとに、機甲教育隊の同期4人で押掛けた青春の思い出があります。当時の今井君は、ビッグな俳優になるという目標のために、大学ばかりでなく劇団や空手道場にも通い、バイトで生活費を稼ぐ多忙な日々を送っていました。そんな今井君に案内してもらったのが、鉄柵で囲まれ「ワセダのファシスト、カクマル殲滅」といった類の伝単が貼られた富士見キャムパス。戎装で見物する私は、10年後に自分がその大学を卒業するなんて、想像できませんでした。

当時の校舎で現存するのは、図書館のみ。アメリカ陸軍の焼夷弾攻撃にも残った1号館（旧3号校舎）が解体されてしまったのは惜しまれます。一方、55年・58年館取毀し跡地の整地と外構工事が、今年1月末に完工しました。そこで、年度始めの4月1日に記録した中央広場とリニューアルされた大内山庭園の風景を展覧します。

川瀬　義一（60年卒）
さいたま市　83歳

地元の町のシニアクラブの総括会長として頑張っております。

## 千葉から

角田　勇（64年卒）
流山市　80歳

法政大学初の総理大臣になった菅総理。コロナ禍と云う事態に直面している。前総理から良い面悪い面みな引き継がねばならない宿命の中にコロナの追い打ち。でも粘り強く取り組んでいると思う。オリンピックの問題もある。菅総理には健康に留意し、コロナ禍を乗り切ってほしい。全法政が応援していることを忘れないでほしい。頑張れ菅さん！

### コロナ禍に思う

花澤　良三（71年卒）
市原市　73歳

勉強は何を目的に行なうのだろうか。私は「正しい判断力」を身につける為であると思います。正しい判断力は、「正しい物差し」を持つ事が重要と考えています。私に取って正しい物差しは法政大学で学んだ「唯物論的弁証法」であると思っています。

これに基づき、現在の「コ9面へ

ロナ禍対応」への私見を述べさせて頂きます。コロナ禍報道及び対策の一番の問題点は、判断力の基準である、全体に対する個の見方が全くされていない事にあると思います。木を見て森を見ない対応です。コロナ禍に対する正しい付き合い方は、「コロナとの共生」を真剣に考える事だと思っています。感染者数に一喜一憂する対応には、納得がいきません。

感染の状態を見ても、私が生活及び営業エリアにしている、千葉県の過疎地においては、コロナ感染には、無縁の地域です。しかし同様の対応を求められています。外出禁止や、オリンピックの無観客がどれ程効果があるのか、科学的な根拠の報道がされていません。風邪やインフルエンザと同じでコロナもゼロになる事はありえません。コロナ対策は「死亡者の数を抑える事」に特化した対応が重要であると思います。

客観的に分析すると日本の病床数は、OECD加盟国平均の3倍あります。制度を変えれば病床逼迫など考え憎い事です。コロナ対策の徹底によりインフルエンザの発症数及び風邪の発症数は画期的に減少しています。また昨年の死亡者の数も前年より、約5万人減少しています。

木ばかり見ないで、森を見た判断が求められます。足下の景気は絶好調で自動車産業を中心に6月の輸出額は過去最高額を記録しました。住宅産業も好調で木材不足が深刻です。これからは、客看的なデータを検証して、一方的な「特定の感染症学者」の発言を鵜呑みにせず、全体から個を見て正しい方向性を導き出す事が大切だと思います。賢い日本人は客観的なデータを検証して、正しい判断力で、乗り越える知恵を導き出す事を確信しています。

## 東京から

松原　寛（57年卒）
目黒区　86歳

昭和32年卒業（1957年）後老夫婦は、素的な子供（2人）、孫（4人）に囲まれて今日まで楽しく元気で老後を過ごしております。

これから何年生きられるか判りませんが、子、孫達と一緒に過ごすことが元気の源になっております。高齢時代も明るく元気に過ごすことが生きがいです。

### 誤植について

胡口　靖夫（69年院卒）
渋谷区　80歳

会報第82号に掲載された小生と同じ日高ゼミ生の川上良一氏の「普（ひろし）です」を拝読しました。たしかに「普」を「晋」とされたのは、そもそも別語ですからお説のとおり誤植だと思います。

日高先生は生前ゼミのコンパの際、つぎのようにおっしゃっていました。「たしかによく間違えて『晋』と書かれるが、あまり気にとめていません。中国古代の晋王朝が有名なので仕方がないと思っています。私の名前の由来は、父が私の生年は1923年なのでそれにちなんでつけてくれた」と話しておられました。「その年は普通選挙権を要求する大衆運動が大きく盛り上がり、民主主義の発展に期待したので『普（ひろし）』と名付けられた」と誇らしげに語っておられたことがとても印象に残っています。

漢字、とくに人名や地名などに関しては人それぞれにこだわりがあるかもしれません。ただ、漢字には旧字体や俗字等を含めると、一見判別が難しいものも数多くありますし、近年の原稿のパソコン入力により、手書きの時代には考えられない誤植が簡単に生ずることも事実だと思います。

同窓会報の校正には万全を期してもらいたい気持ちはありますが、そこは同窓会ですから、お互い寛容になることも大切ではないかと感じています。

## 神奈川から

髙橋　新一（91年卒）
綾瀬市　53歳

新学部長になられた廣川先生を始め、ここ10年弱位の期間にイベントの機会で接することができ、親しみ深かった先生方のお顔、名前を拝見し、キャンパスの変化に思いを馳せ、懐かしさや親和感などいろいろな良い感情で心が満たされました。

また是非直接皆様にお会いする機会を見つけ、参加したいです。キャンパスライフは心の支えです。

## 長崎から

森　隆俊（60年卒）
平戸市　83歳

鈴木豊先生の経済学部長ご退任につき、長年のご労苦に感謝申し上げます。また、廣川みどり先生の新ご就任を心から歓迎しお祝い申し上げます。我が母校「法政大学」の益々の発展と同窓会関係皆様と学生諸君のご活躍を心から祈念致します。

# ご自愛ください

会報では広告を募集しています。あいさつ広告と企業広告があります。お申込みは事務局へ。広告の掲載料金は同窓会活動に大いに役立っております。幅広い会員各位のご協力をお願いいたします。


**法政大学経済学部同窓会**
会長
**村田紀敏**
昭和41年経済学部卒

**法政大学経済学部同窓会**
会長代行
**加藤毅**
〒175-0082 東京都板橋区高島平五―三一―一二
電話 〇三（三九三〇）八六六五
一九六〇年経済学部経済学科卒（上杉ゼミ）

**メガソーラーコンサルタント**
**愛花創業㈱代表取締役**
**法政大学経済学部同窓会**
幹事長
総務部会長
**花澤良三**
〒290-0141 千葉県市原市ちはら台東二―一一―一三
電話 〇四三六（三六）一一六〇
昭和46年経済学部経済学科卒

**法政大学経済学部同窓会**
事務局長
**髙森正雄**
〒191-0002 東京都日野市新町一―八―一九
昭和45年経済学部経済学科卒（渡邊佐平ゼミ）

**法政大学経済学部同窓会**
副会長
**佐々木範光**
〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡一―一七
電話 〇四（二九四二）七八〇六
昭和42年経済学部卒

**法政大学経済学部同窓会**
事業部会長
**元角昌三**
〒188-0011 東京都西東京市田無町一―一二―六
電話 〇一二〇（四〇八）〇三八
一九七〇年経済学部卒

**法政大学経済学部同窓会**
財政部会長
**田口雅美**
〒267-0057 千葉県千葉市緑区大木戸町九三―六九
電話 〇四三（二九四）五〇八八
１９７１年経済学部卒

**法政大学経済学部同窓会**
**財政部会　副部会長**
**会田久仁夫**
〒336-0017 さいたま市南区南浦和
三―二七―二二―一〇〇六
昭和42年経済学部卒

**法政大学経済学部同窓会常任幹事**
**応援団ＯＢ・ＯＧ会幹事**
**東京宅建倶楽部幹事**
**大野文義**
〒177-0051 東京都練馬区関町北二―三四―一
電話 〇三（三九二〇）一一一〇
昭和26年経済学部卒

**高橋建設興業株式会社**
取締役会長
**高橋久之**
〒212-0004 神奈川県川崎市幸区小向西町四―六五
電話 〇四四（五一一）〇五五七
ＦＡＸ 〇四四（五五五）一二八七
昭和35年経商卒

**株式会社桐屋**
代表取締役
社長
**田島榮二郎**
横浜市戸塚区戸塚町一〇五番地
電話 〇四五（八六一）五七四一㈹
昭和37年経済学部商業学科卒

**コマニー株式会社**
会長
**塚本幹雄**
〒168-0065 杉並区浜田山四―一六―四
セントマークス浜田山一一六
昭和48年経済学部経済学科卒

**日本トーマス・シェリング経済学会準備会**
呼び掛け人
**中村寿徳**
(Schelling's Twitter follower)
携帯 〇八〇（一六七〇）三七五二
HP:http://tesassociation.web.fc2.com

**オフィス曽根**
代表
**南章乃**
〒105-0013 東京都港区浜松町一―一―六―四〇四
電話 〇三（三四三七）〇七八五
ＦＡＸ 〇三（三四三七）〇七八三
携帯 〇八〇（三五六七）〇四三九
Gmail:753aass@gmail.com

# 立秋を過ぎても続く残暑に

法政大学理事　経済学部同窓会副会長
文化シヤッター株式会社
代表取締役社長
**潮崎敏彦**
昭和45年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会
副会長　広報部会
**小倉尚**
〒145-0065　東京都大田区東雪谷三―一六―八
電話　〇八〇（五八七八）七一一一
一九六五年経済学部卒（高橋誠ゼミ）

法政大学経済学部同窓会
副会長
**菅野里見**
〒192-0913　東京都八王子市北野台三―四六―一一
電話・FAX　〇四二（六三七）二五三五
昭和42年経済学部卒

村串仁三郎法政大学名誉教授　著
**「高度成長期日本の国立公園」**
**――自然保護と開発の激闘を中心に――**
（時潮社、三五〇〇円）
著者は一九六九年法政大学大学院（博）単位取得
博士（経済学）
経済学部同窓会副会長・HP副部会長

法政大学経済学部同窓会
顧問
**岡田脩**
〒233-0016　横浜市港南区下永谷五―二二―二八
電話　〇四五（八二四）八七九〇
昭和31年経済学部経済学科卒

法友体育会顧問
法友ハンドボールクラブ名誉会長
**川﨑保之**
〒183-0035　東京都府中市四谷三―六四―二四
電話　〇九〇（二六四八）六三〇一
昭和38年経済学部経済学科卒

**経済学部二部会計学研究会OB会**
公認会計士
税理士
**桑原正信**
〒306-0016　茨城県古河市古河五四四―一四七
昭和43年経済学部商業学科卒

**南宗谷カントリー倶楽部**
顧問
**深井信朗**
〒098-5204　北海道枝幸郡枝幸町歌登南町三八〇―四
電話　〇一六三（六八）二八三六
昭和36年経済学部商業学科卒

**二度栗山興業株式会社**
取締役会長
**宮内良雄**
昭和26年経済卒

**文京法友会**
相談役
**高橋将昭**
昭和34年経済学部卒

## 事務局COLUMN

### 西之表市の会員からのお誘い

事務局には、北は北海道、南は沖縄まで、遠方の会員の方々から時折電話があります。

多くは会費の納入や寄付に関する問い合わせですが、それをきっかけに話が多岐に及ぶこともあります。先日も、鹿児島県西之表市にお住まいの日高興一郎さんから電話をいただき、話がはずみました。

皆さんご存じの西表島も今回の西之表市も、鹿児島県に属します。前者はイリオモテと読みますが、後者はニシノオモテと読み、そこは種子島の北側の市です。

日高さんは、鹿児島市で同窓会の催しがあるときは必ず出席しているとのことで、種子島は、それは美しいところなので、同窓会の皆さんに是非是非遊びにきてほしいとのお話でした。

私からは、コロナが落ち着いたら同窓会の有志を募ってお邪魔したいと伝えました。日高さん、そのときはよろしくお願いします。

（事務局長　高森）

## 【新入会員】

2021年5月～（）は西暦卒年　［　］は紹介者　敬称略

時﨑　康徳（21）
髙橋　佳子（学生）［菅野　里見］
板坂　祐心（学生）［菅野　里見］
清久　路子（89）

## 【一般活動支援金寄付】

2021年5月～1口　千円　（）は西暦卒年　敬称略

匿　名　10口（67）
雨宮　安雄　2口（63）
荒川　四郎　2口（63）
出水　久義　3口（56）
浦野五左衛門　2口（61）
大川　成一　5口（78）
大里　正芳　3口（61）
太田　荘一　1口（77）
小倉外志朗　5口（61）
小沢　暁民　3口（63）
押鐘　耕道　10口（61）
小野　勝司　2口（62）
金久保　健　1口（88）
神和住　純　3口（70）
菊地　政廣　10口（70）
桑原　正信　10口（68）
呉　正男　3口（54）
小林　安正　3口（58）
小宮　憲　1口（74）
匿　名　3口（57）
白川　博　3口（64）
鈴木　武司　3口（62）
高鍋　幹雄　2口（63）
髙森　正雄　10口（70）
田村　義男　3口（63）
杖村　邦夫　3口（60）
塚田　常雄　10口（57）
津金　富一　10口（71）
塚本　幹雄　7口（73）
土屋峰三郎　1口（62）
徳田　訓康　4口（62）
徳弘　義彦　10口（59）
匿　名　1口（93）
中原　一六　10口（64）
中村　隆輔　5口（65）
長山　幸一　10口（51）
萩原　進　3口（特別会員）
土師　猛　2口（66）
原木　正司　5口（71）
藤田　幸雄　1口（55）
藤山　範英　5口（65）
本田　五郎　5口（59）
匿　名　3口（64）
匿　名　3口（70）
匿　名　3口（56）
光永　裕彦　10口（61）
匿　名　3口（61）
村田　紀敏　5口（66）
元原　俊明　10口（62）
森　義男　10口（61）
綿貫　健治　5口（65）
和田　有可　2口（57）
川崎　順一　10口（69）
川島　理史　2口（76）
菊池　二郎　5口（50）
北田　義徳　20口（76）
清家　豊雄　2口（43）
髙森　正雄　10口（70）
服部　圭一　1口（74）
花村　一夫　2口（66）
藤田　幸雄　1口（55）
藤山　範英　5口（65）
望月　博信　1口（16）
山口八州士　20口（61）
山水　克美　7口（67）
田中　正旗　2口（62）

## 【学生支援金寄付】

2021年5月～1口　千円　（）は西暦卒年　敬称略

石山　秀雄　2口（75）
栄野川盛正　1口（91）
大川　成一　5口（78）
太田　荘一　1口（77）
小田　暉一　5口（60）
川井　重義　1口（67）

## 【訃報】

2021年5月～8月　（）は西暦卒年　敬称略

ご遺族の方から次の会員のご逝去のご連絡がありました。同窓会発展のために、ご尽力ありがとうございました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

大貫　邦昭（59）
片桐　為義（60）
嵯峨　明（64）
菅井要之介（53）
竹内　伸吉（52）
田中　鋭夫（52）
田村　義男（63）
續　保廣（57）
中島　徹夫（61）
平松　瑞夫（57）
山村　學（71）
　2019年ご逝去（ご家族から2021年5月にご連絡有）
吉田　義博（61）

# 事務局からのお知らせ

ここ多摩キャンパスが閑散としている状況は継続しています。私は毎週火曜日に事務局に出勤していますが、朝すれ違うのは清掃の女性やビル管理の方々ばかりで、学生さんの姿はほとんど見られません。経済学部の学生食堂は午前11時から午後１時半まで営業するようになりました。先日１年以上振りに、事務局の女性と３人で食事をしましたが、人影はまばら、テーブルはアクリル板で仕切られ会話も遠慮せざるを得ず、食事をしていても楽しいとはとても言えない雰囲気でした。大学がこのような状況ですので、同窓会のほぼすべての活動はメール等でのやりとりで細々と行っているのが実状です。１面で報告したとおり、定期幹事総会は少人数ではありましたが実開催し、出席した常任幹事の皆さんからも早くコロナが落ち着いて互いに顔を合わせながら会議を開催できるようになるのが待ち遠しいとの声が聞かれました。

### 最近の活動

本年４月以降の主な活動は以下のとおりです。

- ４月30日（金）事務局にて会報発送作業完了
- ５月11日（火）監査（書面実施）
- ５月20日（木）第６回代表・常任合同幹事会（書面開催）
- ６月５日（土）2021年度定期幹事総会
- ７月15日（木）第１回代表・常任合同幹事会（書面開催）
- ８月27日（金）事務局にて会報発送作業完了予定

以上のほか、必要に応じて電話やメールを通じた交信により同窓会の運営等に関する打ち合わせを行いました。

### 今後の予定

今後の活動につきましては、周囲の環境をにらみながら方法について検討して参ります。なお、12月に開催予定の忘年パーティーに関しては、６面でご案内したとおりです。

（事務局長　髙森　正雄）